

【校訓】 敬愛 創造

【学校教育目標】

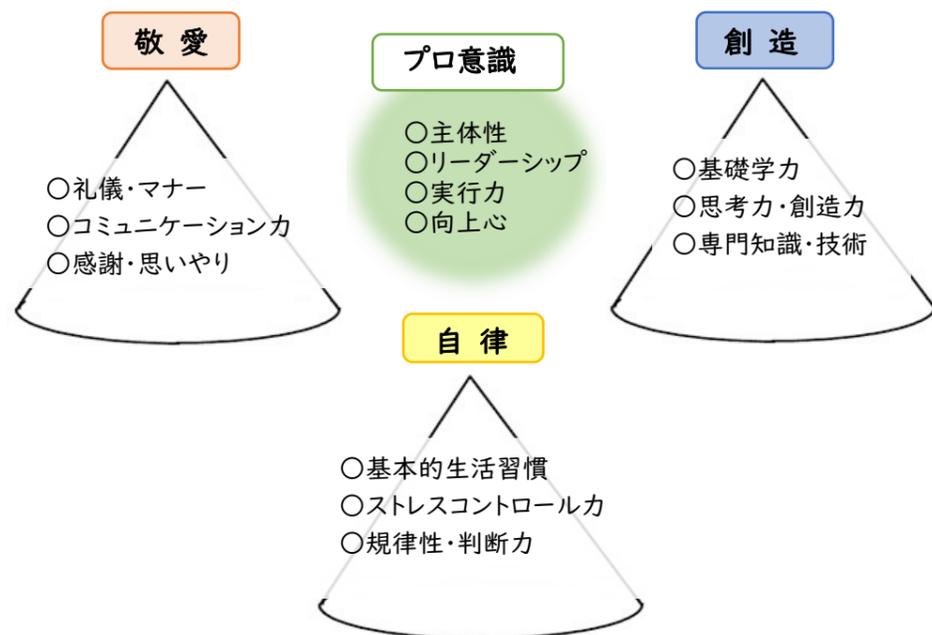
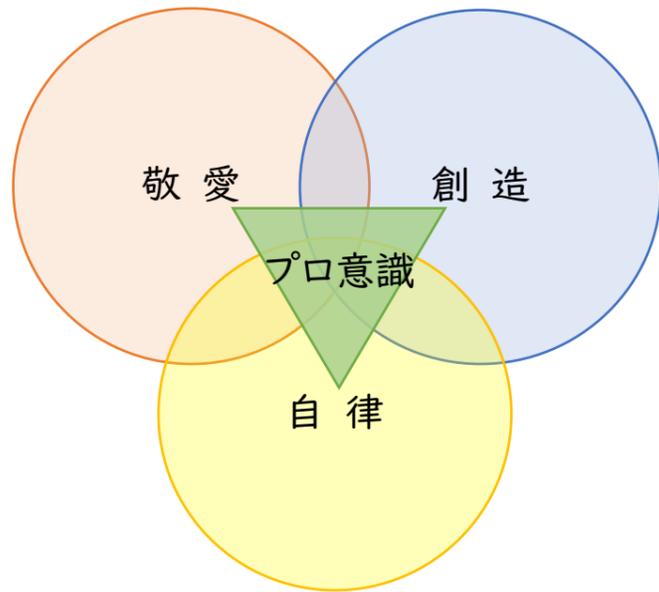
- 1 豊かな教養と専門的な知識・技術を修得し、創造性に富んだ人間の育成
- 2 自ら深く考え正しく判断する力と、他者を敬い感謝する心を持った感性豊かな人間の育成
- 3 健全な身体と粘り強い実践力を培い、心身ともに逞しい人間の育成

～ブランドデザイン策定に込めた思い～

校訓の「敬愛」「創造」に「自律」を加え、三つの笠とした。この三つの笠をもち合わせた生徒は、雨雪（苦境）をしのぐことができ、時代の変化にも耐えることのできる強い人間に育つ。

笠が重なった中心部分を「プロ意識」とした。三つの笠を大きく編んでいながら、プロフェッショナルとして社会で活躍するために必要な意識や資質も醸成し、高校卒業後も自ら学び、成長し続けてほしいという願いから。

ミカサ プライド  
MIKASA PRIDE



	目指す学校の姿	目指す教師の姿	目指す生徒の姿と身に付けさせたい13の資質能力	
<b>&lt;敬愛&gt;</b> 他を敬い、協働できる力 多くの人とともに学び・働くために必要となる力	保護者や地域、企業などと連携・協働しながら生徒の豊かな成長を支えることができる安心安全な学校	協働体制のもと、一人一人が学校組織の中で役割を自覚し、責任感を持って、より良い教育活動を工夫・改善しながら前向きに実践できる教師	1 礼儀・マナー	気持ちの良い挨拶や身だしなみを心掛け、相手や場面に応じた正しい振る舞いができる。
<b>&lt;創造&gt;</b> 新たな価値を生み出すことができる力 食のプロフェッショナルを育てる職業学校として新たな価値を自ら生み出すために必要となる力	食のプロフェッショナルを育てる専門的な学びの環境を充実させるほか、それを支える一般教科の効果的な教育課程編成と教育実践、特色ある部活動を通して個々の生徒の夢の実現を支えることができる学校	それぞれの専門性を高めるため、自己研鑽に励み生徒に、知識の教授だけでなく、その活用する方法を身に付けさせることができるような、質の高い教育を施すことができる教師	2 コミュニケーション力	意見の違いや相手の立場を理解しながら、自分の考えを正しく伝え、人の話を丁寧に聞くことができる。
			3 感謝・思いやり	何事にも感謝の心を持ち、相手を思いやった言葉遣いや行動をとることができる。
<b>&lt;自律&gt;</b> 自らを律することができる力 社会人として自立するために必要となる力	社会のニーズを的確に捉えた上で効果的な教育活動を計画・実践し、生徒の個々の自律を支えることができる学校	自らも教職公務員としての高い規範意識をもつとともに、生徒の発達段階を理解し、それに応じた支援を行うことができる教師	4 基礎学力	中学校段階までの学習や高校における学習を通して身につけられる基礎学力をはじめ、読解力、基礎的計算能力、グローバル社会で活用できる英語力、情報処理能力などの汎用的能力などを身につけている。
			5 思考力・創造力	表面的な理解にとどまらず、本質を見極めるための論理的思考や、身につけた知識や技術を活用して新たな価値や解決策を生み出す力を身につけている。
			6 専門知識・技術	食のプロフェッショナルとして活躍するために必要な知識や技術を身につけている。
<b>&lt;プロ意識&gt;</b> 社会で活躍し続けられる力 プロフェッショナルとして活躍し続けるために必要となる資質や意識	教育活動全般を通じて、社会から信用される資質と能力をもった人間(ミカサブランド)を育成できる学校	生徒理解に努め、厳しい中にも親身で温かみをもって指導を行うとともに、身近なプロフェッショナルとして常に模範を示し続けることができる教師	7 基本的な生活習慣	自らを律し、規則正しい生活習慣を送ることができる。
			8 ストレスコントロール力	ストレス発生源を客観的に捉え、適切に対処して解消・軽減し、心の健康を保つことができる。
			9 規律性・判断力	集団社会における規律を意識し、人との約束やルールを守り、人として正しい判断をすることができる。
			10 主体性	状況を判断し、自ら進んで効果的な行動をとることができる。
			11 リーダーシップ	互いの良さを認め、相手の持ち味を活かしながらチームで目標を達成するために働きかけることができる。
			12 実行力	目的を明確に設定し、自分が決めたことに責任をもって粘り強く取り組むことができる。
			13 向上心	現状に満足せず、様々なことに挑戦し、常に成長するための努力を続けることができる。